

平成 31 年 3 月 13 日
株式会社日本政策金融公庫

地域金融機関 CLO を発行

～25 の地域金融機関と連携し、中小企業者向け無担保資金供給の円滑化を支援～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）中小企業事業は、3 月 13 日、地域経済活性化の担い手となる 中小企業者への無担保貸付債権を裏付けとする CLO（貸付債権担保証券）を発行しました。本 CLO は地域金融機関、日本公庫及び機関投資家による証券化手法を活用した連携商品であり、平成 28 年 3 月の実施以降、4 年連続での組成となります。

組成規模は、貸付債権額ベースで 345.96 億円（昨年 270.30 億円）、貸付社数ベースで 1,693 社（昨年 1,095 社）、参加金融機関数ベースで 25 機関（昨年 22 機関）と、いずれも昨年から増加しています。

背景としては、担保に依存しない貸付メニューのひとつとして、地域金融機関の利用ニーズが高まっていることや、運用難の環境下、相応の利回りを確保できる商品として、機関投資家の投資ニーズが高まっていることなどが考えられます。

なお、本 CLO は 国内の証券化商品としては初めてソーシャルボンド評価（※1）を取得し、最上位の格付けが付与されています。

日本公庫は、国の施策に基づく政策金融機関として、今後とも証券化手法を活用して、地域金融機関による中小企業者への無担保資金の円滑な供給を支援するとともに、中小企業 CLO 市場の整備を行っていきます。

< 今回の CLO（シンセティック型（※2））の概要 >

- ◆ CLO 発行日：平成 31 年 3 月 13 日
- ◆ 発行会社：合同会社クローバー2019
- ◆ CLO 発行額：335.48 億円
- ◆ 当初貸付債権総額：345.96 億円
- ◆ 貸付社数：1,693 社
- ◆ 地域金融機関：山形銀行、七十七銀行、清水銀行、但馬銀行、北日本銀行、福島銀行、栃木銀行、みなと銀行、北海道信用金庫、苫小牧信用金庫、帯広信用金庫、朝日信用金庫、西京信用金庫、西武信用金庫、城南信用金庫、多摩信用金庫、富山信用金庫、掛川信用金庫、大阪信用金庫、姫路信用金庫、米子信用金庫、徳島信用金庫、愛媛信用金庫、熊本信用金庫、長野県信用組合（計 25 機関）
- ◆ A 号社債：213 億円（AAA）、利率「3 ヶ月 TIBOR+0.20%」、機関投資家が購入
- ◆ B 号社債：84.48 億円（BBB+）、利率は非公表、日本公庫が購入
- ◆ C 号社債：38 億円（AA+）、利率「3 ヶ月 TIBOR+0.10%」、機関投資家が購入
(C 号社債は日本公庫が元利金を全額保証)

（※1）JCR（日本格付研究所）が、本スキームの社会貢献性などを評価したもの。本件は、地域金融機関を通じた中小企業者への円滑な無担保資金供給などによる地域活性化効果が評価されました。

（※2）今回実施するシンセティック型とは、証券化対象の貸付債権を譲渡することなく、クレジット・デフォルト・スワップ（CDS）契約により、貸付債権の信用リスクのみを特別目的会社（SPC）に移転させ、証券化を行う手法です。

<スキーム図>

